

## 地域連携推進拠点を核とした取り組み

### 地域連携推進拠点 Cラボ

Cラボ(しーらぼ)は、地域と大学の協働を創る地域連携推進拠点として、地域の課題と大学の教育研究をつないでいます。

地域と大学が共に学び、成長する新たな地域連携モデルの実現に向け、2015年にはクラシティ半田(現CLACITY)、ソラト太田川にも開設しました。

活動フィールドを地域とし、学生がそこにある課題に取り組むことで、地域と大学がともに成長していく社会づくりを進める役割を果たしていきます。



Cラボを交差点に多様な人々のつながりをつくります

### Cラボ美浜

美浜キャンパス内 2013年開設



### Cラボ半田

CLACITY 3F 2015年開設



### Cラボ東海

ソラト太田川 3F 2015年開設



## 広がる市民との協働・地域円卓会議

地域連携推進拠点とともに、地域課題を持ち寄り、持ち帰る場として「地域円卓会議」を開催しています。世代を超えた意見・情報交換を行い、多様な立場の方と出会うことで、ネットワークが構築されるだけでなく、新たな取組につながっています。



ちゃぶ台ミーティング (美浜町)



知多半田駅前地域円卓会議(半田市)



はんだU22研究所(半田市)



東海市地域大円卓会議(東海市)



東海市地域円卓会議実行委員会(東海市)

## 知多半島に広がる共同・協働



美浜町



イルミネーションの灯りで地域をつなぐ

2016年度冬、「MIHAMA ILLUMINATION 2016」が開催されました。点灯式には1,000人以上が訪れ、本学のアカベラサークルもステージに立ち、会場を盛り上げました。この取組は、地域団体や町民、本学職員が実行委員となって実施されました。



東海市

あそべる大屋根広場2day'sを開催

国際福祉開発学部の学生が「日本福祉大学 RED」を結成し、NPO 法人学童保育ざりがりにクラブさんと一緒に、太田川駅西側のイベント広場(通称「大屋根広場」)で「あそべる大屋根広場2day's」を開催しました。

### 運河の魅力再発見!「半田運河 Canal Night」

2016年から始まった「半田運河 Canal Night」は、8月下旬の夜に開催され、運河にみんなで投げ入れたヒカリの玉を眺めながら地域のお酒や食事を楽しんだり、黒壁の蔵の立ち並ぶ夜の運河沿いを歩くイベント。2度目となる2017年は金・土2日間で約1万人の人が訪れ、大いに賑わいました。半田市、半田市商工会、観光協会などとの協働で行われる本イベントは、中心市街地と運河周辺エリアの賑わいと回遊性を高め、新たな魅力を伝える夏の風物詩との一つとなりつつあります。



シャボン玉による空間演出 (坂口大史 助教)



半田市



知多市

「ちた未来塾」で思いをカタチに



美浜町

「Chabs(チャブス)」地域交流拠点



美浜町

MIHAMA Fes. ~地域の魅力発掘市~



半田市

亀崎景観向上PJ エアコン 室外機カバー制作



東海市

太田川駅前に1日限定開店 オープンカフェ「Fun Cafe」

## 「社会貢献」領域 中間成果

### 社会貢献の成果と今後の展開

日本福祉大学では、開学以来一貫して、地域と社会に貢献するために教職員および学生が様々な活動に取り組んできました。

たとえば、半田キャンパス内に設置されている生涯学習センターは、キャンパス開設以来 20 年以上にわたって、半田市市民の生涯学習活動に大きな貢献を果たしてきましたし、地域活動に中心的な役割を果たしてきた教職員も少なくありません。また、学生にサークルの中には長期にわたって地域の子どもや障がい者の支援を行ってきたサークルもあります。

COC 事業の枠組みの中では、教育・研究とならぶ 3 つの柱の一つとして社会貢献が位置付けられていますが、本来、教育や研究と切り離されて社会貢献活動が存在するわけではなく、教育や研究を含む大学の諸事業全体の中に、社会貢献的な要素が含まれてきました。その蓄積の上で COC 事業に取り組んできたことにより、連携自治体のみならず、地域で課題解決に取り組んでおられる市民や企業、団体から、大学の資源を活用したい場合に、以前にまして大学に対してアプローチがしやすくなったとの声をいただいています。

今後は、日本福祉大学における諸事業の中で社会貢献的な側面を常に意識しつつ、教育や研究とさらに連携を深め、そこから、新たな教育や研究につながり、好循環を生み出すことが大切だと考えます。

地域連携推進機構長・  
国際福祉開発学部 教授

千頭 聡

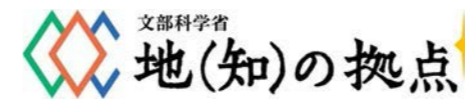
Satoshi CHIKAMI

### 概要

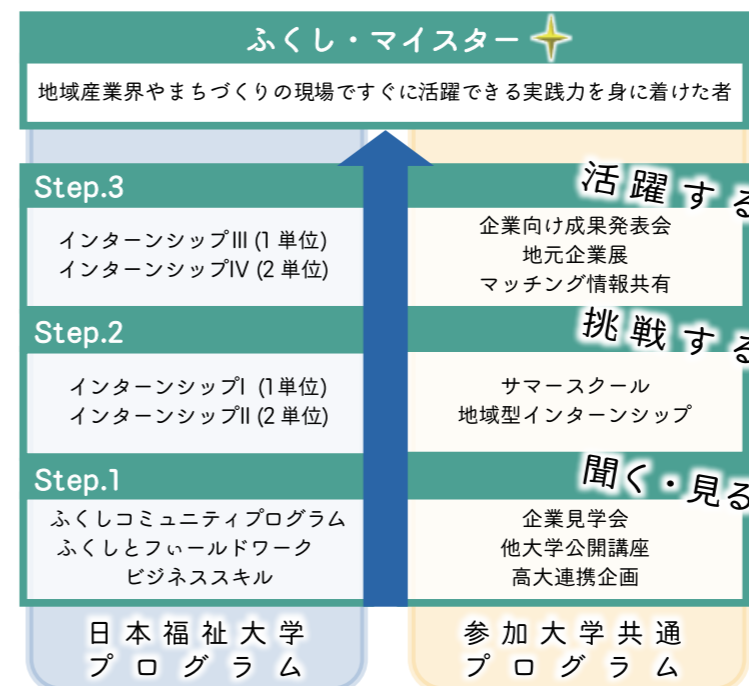
## 大学 × 産業界 × 自治体が協働して 岐阜県への就職をサポート

### 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）とは

地方の大学群と、地域の自治体・企業やNPO、民間団体等が協働し、地域産業を自ら生み出す人材など地域を担う人材育成の推進を目的としています。



日本福祉大学は、平成 27 年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（以下、COC+）」に採択された岐阜大学の事業「岐阜でステップ × 岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」に、岐阜大学・中部学院大学・中部大学・名古屋学院大学と連携して参加しています。



### 現場ですぐに活躍できる 実践力を身につけた 「ふくし・マイスター+」を養成

日本福祉大学の COC+プログラムは、実践を通じて地域創生に必要な力を養成していきます。各ステップを踏んだ学生は、地域性を理解し、地域産業界やまちづくりの現場ですぐに活躍できる実践力を身につけている証明として「ふくし・マイスター+（プラス）」の称号を得ることができます。この称号を得ることで、地域で働く際に即戦力を示せる大きなポイントになります。